

関西圏半導体人材育成共創拠点の構築

拠点校(事業責任者): 大阪大学(渡部平司・工学研究科副研究科長)

連携校(事業責任者): 京都大学(木本恒暢・応用物理学会会長)

神戸大学(喜多 隆・理事副学長)

京都工芸繊維大学(山下兼一・副学長)

大阪公立大学(藤村紀文・特命副学長)

※整備事業申請: 大阪大学、神戸大学、京都工芸繊維大学、大阪公立大学

参画機関: SCREENホールディングス他 半導体関連企業8社

経済産業省近畿経済産業局、大阪府、京都府、兵庫県 他

大阪公立大高専、神戸高専、舞鶴高専 他

- ・ 事業概要(現状・課題、事業内容)
- ・ 実践教育プログラム概要

事業概要

【現状・課題】

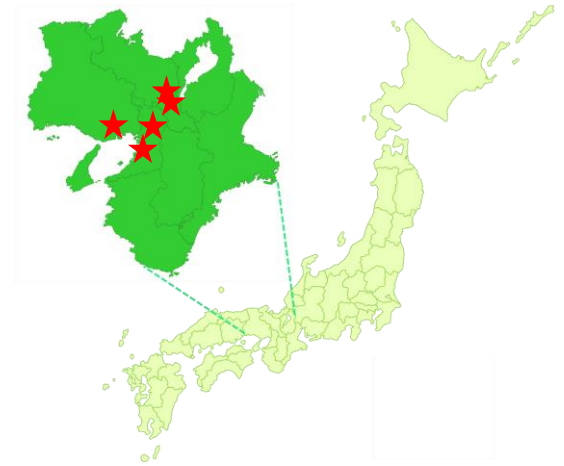
関西には多数の理工系人材を擁する大規模大学が存在し、半導体分野でも優れた研究開発と特色ある人材育成に取り組んでいるにも関わらず、近畿全体を俯瞰する連携組織の構築には至っていない。⇒ **半導体連携の空白地帯**

近畿経済産業局が「**関西半導体人材育成等連絡協議会**」を発足(2025年6月19日)

⇒ **関西圏の大学連携の核となる連携組織の必要性**

【事業内容】

大阪大学を拠点校として**関西主要5大学が半導体人材育成共創拠点を構築し**、各大学の特徴的な取り組みを共有してシナジー効果を発揮すると共に、大学横断型の実践教育・実習プログラムを開発して**連携規模を地域全体に拡大**する。



阪大・京大・神大・工繊大・公立大 5大学連携の強み

- ・ 理工系学部入学定員5,200名を超える大型連携 → 国公立大や高専へ規模拡大
- ・ 各校のGood practice共有と関西圏への拡大
- ・ 関西協議会を通じた半導体人材育成事業への企業参画に絶好のタイミング

関西圏全体で半導体復活の機運を醸成(学生達が半導体分野に魅力を感じる)

実践教育プログラムの概要

実践講座 + 実践教育・演習 + 実践実習に加え、業界団体との交流会や重点分野毎の成果発表会及び全体交流会等を開催

実践講座: SEMIジャパンと連携して産業界(デバイス、自動車、通信、製造装置 他)やコンサルティング会社等から講師を招いて業界全体を俯瞰できる実践講義を提供

実践教育 & 実習: 5大学が強みを有する4つの重点領域から実践教育(演習)と実習を選択

パワーデバイス

(大阪大学、京都大学)

- ・ 設計を含めた実践講義
- ・ SiC MOSデバイス試作

回路設計

(京都工芸繊維大学)

- ・ FPGA回路設計
- ・ 回路作製と動作解析

フォトニクス

(神戸大学)

- ・ 基礎 & 先端技術講義
- ・ 光導波路等の設計試作

製造技術

(大阪公立大学)

- ・ 企業外部講師講義開放
- ・ 無機有機プロセス体験

- ・ SEMICON Japanへのツアー(展示会見学 & 企業懇談会)及び企業講師との交流会開催
- ・ 学生間交流を目的とした重点分野成果報告会及び全体交流会の開催
- ・ エリート修士学生(後期課程進学予定者等)への海外渡航支援

■ 関西圏他大学及び高専への実践教育プログラム提供

■ 事業評価アドバイザー委員会や外部組織(関西協議会、LSTC人財育成検討会等)との連携を通じて実践教育プログラムを継続的に改訂